

## 一つの井戸から ヨハネ 4:1-18

2025. 8. 3、丘の上 NO. 754  
春日部福音自由教会 山田豊

人のからだ溶けてしまうのではないかと感じるような日が続いています。この先、私たちの地球はどうなるのでしょうか。

そんな暑さの中で、人は涼を求めます。7,8月の教会カレンダーは、軽井沢にある「竜返しの滝」の写真となっていて、眺めているだけで涼しくなっていく感じです。

本日のテキストの舞台は滝ではなく、井戸です。サマリアの領内、スカルにあるヤコブの井戸と言われている所です。こう言われているのは、かつてスカルと同定とされるシェケムに住んだことがあったためです。

この地域に住む人たちにとって、水や泉、井戸は私たちが思う以上に大切なものでした。この井戸の傍らでイエスとサマリア人の女性との対話は、今日でも多くのことを教えてくれます。2021年の8月に、鍔仙会による新作能「ヤコブの井戸」を鑑賞いたしました。ヨハネ4章の物語を、ユダヤ人とパレスチナ人に置きかえた作品で、井戸から汲んで分け与える水は、愛、あるいは平和の象徴として描かれていると思いました。

サマリア人とユダヤ人は付き合いをしなかった、と9節にあります。もともと両民族は一つでした。しかしバビロン捕囚の前に、アッシリアによって北王国イスラエルが滅ぼされた時、他の民族との結婚によって生まれた人たちがサマリア人と言われるようになりました。それ以来、付き合いをしなくなったという背景がここにあります。

最初イエスは、水を飲ませてくださいと頼んだのですが、物語の最後では、イエスが渴くことない水をこの女性に与える、という話に展開していきます。イエスをキリストと信じることこそ、魂の渇きをいやし、神との交わりを回復することになることを教えています。民族の違い、場所の違いによらない、霊とまことによる礼拝がささげられるようになるのです。

もとより、ユダヤ人もサマリア人も、共通の先祖から出た民族です。人類も一人の人間から現在に至り、実に多様な人々がこの地球上で暮らしています。それは、罪ある人間の歴史です。しかし真の神であり人である一人の人、イエス・キリストの到来が私たちの罪を赦し、神との和解、そして人との和解を成し遂げてくださったのです。

ローマ 5:19 すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。

引用聖句

ヘブル 5:2 大祭司は自分自身も弱さを身にまとっているのに、無知で迷っている人々に優しく接することができます。

ヘブル 5:7-8 キリストは、肉体をもって生きている間、自分を死から救い出すことができる方に向かって、大きな叫び声と涙をもって祈りと願いをささげ、その敬虔のゆえに聞き入れられました。8 キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみによって従順を学び、

ヨハネ 7:38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。」

ヨハネ 14:6 イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。

創世記 33:18-20 こうしてヤコブは、パダン・アラムからの帰途、カナンの地にあるシェケムの町に無事に着き、その町の手前で宿営した。19 そして、天幕を張った野の一面を、シェケムの父ハモルの息子たちの手から百ヶシタで買い取った。20 彼はそこに祭壇を築き、それをエル・エロヘ・イスラエルと呼んだ。

創世記 48:22 私は、兄弟たちではなくおまえに、私が剣と弓でアモリ人の手から取った、あのシェケムを与えよう。」

ヨシュア 24:32 イスラエルの子らがエジプトから携え上ったヨセフの遺骸は、シェケムの地、すなわち、ヤコブが百ヶシタでシェケムの父ハモルの子たちから買い取った野の一面に葬った。そこはヨセフ族の相続地となっていた。

創世記 21:31 それゆえ、その場所はベエル・シェバと呼ばれた。彼ら二人がそこで誓ったからである。

創世記 21:14 翌朝早く、アブラハムは、パンと、水の皮袋を取ってハガルに与え、彼女の肩に担がせ、その子とともに彼女を送り出した。それで彼女は行って、ベエル・シェバの荒野をさまよった。

創世記 26:22-23 イサクはそこから移って、もう一つの井戸を掘った。その井戸については争いがなかったので、その名をレホボテと呼んだ。そして彼は言った。「今や、【主】は私たちに広い所を与えて、この地で私たちが増えるようにしてください。」23 彼はそこからベエル・シェバに上った。

ヨハネ 4:24 神は霊ですから、神を礼拝する人は、御霊と真理によって礼拝しなければなりません。」

ローマ 5:19 すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。

## 新作能「ヤコブの井戸」

2021年8月4日－8日、鏡仙会 新作能 於：座・高円寺



若者と老人という二人のユダヤ人がヤコブの井戸でパレスチナ人の女性(前シテ)に出会う。老人は水を求めるが、女性はこの井戸は枯れているとして、水を与えない。青年はこの女性を罵り、前半が終わる。次に狂言として、何百年もの昔、ユダヤ人はサマリア人との接触を避けていたにもかかわらず、サマリア人の女性にこの井戸で水を分け与えたユダヤ人男性の話をする。後半になり、サマリア人の女性(後シテ)が登場し若者に水を求める。最初は水を与えなかったが、ついにはこの女性に水を与え、女性の晴れやかな舞と共に舞台は終わる。

新約聖書ヨハネの福音書の物語を題材にした能。今なお世界で絶えぬ民族間、宗教間の争いに疑問を呈し、象徴としての水を分け合うことの意味を問う。ディートハルト・レオポルドと清水寛二が数年に渡り対話を重ねて創作した作品。ここでの水は、愛や平和を象徴しているものとなっていると思われる。

## ヤコブの井戸

スカルスカルの町とは、当時のシケムシケムのことをユダヤ人たちが侮辱して呼んだ名で、「スカル」とは酒浸りの意味。ユダヤ人は普通、サマリア人の町へ出入りしなかった。

スカルは旧約時代のシケムと同一場所と考えられており、ヤコブがここに井戸を掘ったという記録はないが、パダン・アラムからの帰途シケムに滞在し、ここに土地を購入していることから、この時井戸を掘った可能性が十分あると考えられる(参照創 33:18-20, 48:22, ヨシ 24:32)。井戸の深さは約 35 メートル、直径 2 メートルあり、今も 2000 年前と変わらない新鮮な水が、訪れる旅行者の喉と心を潤す。井戸の上にギリシャ正教の教会堂が建てられている。